

## 平成 29 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会 質疑応答の要約

2017 年 11 月 6 日（月）に開催した、決算説明会において、出席者の皆さまから頂いた質問をまとめたものです。GMO インターネット代表取締役会長兼社長 グループ代表の熊谷、同 CFO 安田並びに GMO ドメインレジストリ社長の塚原より回答させていただきました。

### ●通期業績予想について

【Q1】 3Q まで利益進捗に遅れがあるという説明があった一方、通期業績予想は据え置かれたが、どう考えればよいか？

【A1】 確かに 4Q のハードルは上がっているが、「引き続き追いかける」という意思表示を含めて据え置きとさせていただきます。

### ●「.shop」について

【Q2】 更新単価は初年度価格と比較し、上がるという話だったが、実際にはどうなのか？また、4Q の収益貢献はどの程度か？

【A2】 初年度価格にバラつきがあるため一概には言えないものの、当初計画通りに価格を上げられています。PL インパクトについては、期間按分して計上されるため、影響は限定的となります。

【Q3】 今期期初の段階では件数を追い求めたと思うが、来期の取組課題は？

【A3】 今期は販売事業者であるレジストラの開拓を行い、主要なレジストラへの導入が進みました。今後は、ドメインをより使っていただくための施策が重要となり、「EC=.shop」、「.shop=EC」という刷り込みのため、EC プラットフォーマーとの連携を強化してまいります。

### ●GMO あおぞらネット銀行について

【Q4】 来期は顧客獲得のフェーズになると思うが、連結ベースでの販促費、タイミングの見通しについて教えて欲しい。

【A4】 鋭意進めているものの、出資比率の引き上げ（※現在は 14.9%）には当局からの主要株主認定が必要となるため、タイミングについてはご容赦いただきたい。  
また、持分法適用会社であるため、費用については現段階では業績に与える影響は限定的だと想定しています。

●マイニング事業について

【Q5】 原価率が3割とのことだが、電気代をどう計算したらよいか。またマイニングボードの優位性は徐々に劣化すると思うが償却期間はどのくらいか

【A5】 現段階においては、電気代の原価については売上の1割程度を想定しています。その他、設備費、マシンの償却費や人件費を想定しております。償却期間は既製品のマシンは「1年」、共同開発のチップを搭載したマシンは「3年」を予定しています。

【Q6】 (前回のマイニング事業参入の説明会の際に説明された) 2018年度に投下するハッシュレートを500PH/sから、今回は1,500PH/sに変更されたが、投資額は当初の想定と比べて上がらないのか。

【A6】 当初は100億円規模でご案内しておりますが、ハッシュレートの投下が今後さらに増大すれば、投資規模も増加することになります。マイニング事業から得た収益からも継続投資する予定です。

【Q7】 ハッシュレートが1,500PH/sになるタイミングは？

【A7】 様々な検証必要になりますが、現段階では8月を目処として考えております。

【Q8】 ビットコインマイニング事業は、減価償却も大きいイメージだが初年度は赤字なのか。

【A8】 ビットコインの時価にもよるが、マイニングを開始したタイミングから収益もあがるのでコストも一定量ありますが、きちんと収益化することを想定しています。

【Q9】 マイニング事業を含め、海外事業全体として損益とんとんまで持っていけるイメージか。

【A9】 海外事業全体はアジア圏の新規投資を中心に説明をしているものの、既存事業(SSLなど)があるため、もちろん利益貢献はしています。マイニング事業の開始に伴い、連結利益は上がってくると想定しています。

●モバイルエンターテインメント事業について

【Q10】 ゲーム事業について、組織再編のリリースもあったが、4Qのタイトルの状況によっては閉じるという選択肢もあるのか？

【A10】 コストとリソースの最適化に取り組んでおり、まだ諦めてはいません

以上